

石炭記念館だより

第3号

発行 直方市石炭記念館
〒822-0016
福岡県直方市大字
直方 692-4
TEL 0949-25-2243



筑豊石炭鉱業会救護練習所

直方市石炭記念館の入り口には直方救護練習所之跡の碑が建っており、横にはその沿革を示す碑があわせ建っています。また、



当館裏山に救護隊の訓練に使った練習模擬坑道があります。明治後期以降筑豊地区の炭坑では、大量採炭に伴い相次ぐ事故や災害にみまわれました。中でも最も悲惨極る

と言われていたのが瓦解がかい、ガス・炭塵爆発、

抗内火災出水でした。これらは一瞬にして多くの人命を奪います。明治32年豊国炭鉱の大爆発では、二百余名の犠牲者を出しました。当時の採炭は、自然通気、裸火での作業が殆どでした。筑豊石炭鉱業組合は、明治43年災害発生時の被災者救出並びに復旧作業を行うために、石渡信太郎氏の提案により、独、英の救命器を購入し、各傘下の炭鉱から選ばれた救護隊員に使用・訓練を行いました。坑道内で火を焚いて煙やガスを充滿させ、事故や現場を再現し、温度30度・湿度



習練るけに部内同

70%の悪条件の中、救護隊は、ガスマスクを着けほふく前進等なま、10日間の救命訓練を受けました。救護訓練の修了書を受け取ると給料は格段に上がったようです。しかし、何か事故が起こるたび、危険な現場に向かわなければならず苛酷で家族にとっても辛い仕



事であったと思われる。その後大正3年、六百七十一名の犠牲者を出した三菱方城炭鉱のガス爆発を受け保安面でも、自然通気から扇風機の新設へ、安全灯はウルフ式へと改善されていきます。大正12年4月1日、筑豊石炭鉱業組合直方会議所は、筑豊石炭鉱業組合救護練習所と改め、昭和9年からは筑豊石炭鉱業会救護練習所と名称を改めつつ約一万人の救護隊員を輩出しました。



毎日暑い日が続きます。皆さんのように暑さをしのいでいますか。石炭記念館の裏庭では、カンナの花が風に揺られて咲いています。救護隊練習坑道の入り口の高台の広場からは市役所や直方の町並み白や白雲たなびく福智山が一望できます。風がよく通り涼しいですよ、一度来てみてください。

今後の予定

第3回旧国鉄記念乗車券展開催中(10月12日(月祝)まで)

第9回ユメまつり(8月22日土、23日日)
※会場はユメニテイのおがた

クリーンコールドー(9月5日土、6日日)
入館無料・石炭燃焼体験・火力発電の実験・先着30名様粗品プレゼント